

ステップ1（小学生・低学年）

番号	内容	観点
1	タブレットのでんげんを入れて、アプリをひらける。	基 A
2	タブレットで、もじのにゅうりよくができる。	基 A
3	タブレットで、しゃしんやどうがをとることができる。	基 A
4	じぶんのなまえやじゅうしょなどが「こじんじょうほう」ということをしっている。	モ A
5	本やすかんをつかって、じぶんでしらべたいことを見つけられる。	活 B
6	しらべたことを、えやことばでまとめることができる。	活 B
7	友だちのつくったものをかってにかえたり、けしたり、こわしたりしないようにしている。	基 C
8	タブレットやどうぐは、たいせつにつかっている。	基 C
9	タブレットをつかうとき、せんせいのはなしをよくきいてつかっている。	モ C
10	タブレットをつかうとき、じかんや目のやすめかたにきをつけている。	モ C
11	インターネットはひとりでつかわず、せんせいやいえの人といっしょにつかっている。	モ C

ステップ2（小学生・中学年）

番号	内容	観点
1	タイピングで1分間に20文字くらい入力できる。	基 A
2	インターネットでキーワードを考えて、調べられる。	基 A
3	プログラミングアプリでキャラクターを作ったり、動きを入れたりすることができる。	プ A
4	パスワードを自分で決めて、ひみつにして守っている。	モ A
5	自分の名前や住所のほかに、顔写真やその人がとくていされるものが個人じょうほうであることを知っている。	モ A
6	友だちと自分の考えをくらべて、おなじところやちがうところに気づくことができる。	活 B
7	調べたことを、表やグラフを使ってあらわすことができる。	活 B
8	じょうほうが正しいかどうかを、まわりの大人にかくにんしている。	モ B
9	わからないことや知りたいことを、進んで調べようとしている。	モ C
10	わからないことや知りたいことに、ねばり強くチャレンジしている。	モ C
11	インターネットを使うときはルールやマナーを思い出している。	モ C

ステップ3（小学生・高学年）

番号	内容	観点
1	タイピングで1分間に40文字以上入力し、文章が書ける。	基 A
2	「くりかえし」「もし～なら」などを使ってプログラムを作ることができる。	プ A
3	ほかの人のアイデアや作品を使うときのルールを知っている。	モ A
4	個人情報は、むやみにインターネット上に載せていない。	モ A
5	調べる前に目的を決めて、本やインターネットで情報を集めている。	活 B
6	アンケートや調べたことを表やグラフでまとめて発表できる。	活 B
7	発表資料を、聞く人や見る人のことを考えて工夫して作っている。	活 B
8	情報の正しさや発信元を自分で確認することができる。	モ B
9	メッセージや意見を送るとき、相手の気持ちを考えている。	モ C
10	自分のタブレットの使い方をふり返って、次に生かすようにしている。（モラルや機能）	モ C
11	新しいことに前向きにチャレンジしようとしている。	活 C

ステップ4（中学生）

番号	内容	観点
1	タイピングで1分間に60文字以上正確に入力し、文章をスムーズに書いている。	基 A
2	ANDやORなどを使って、効果的に情報を検索できる。	基 A
3	得られた情報を分かりやすい表やグラフにして、効果的にまとめられる。	活 B
4	自分の意見や調べたことをプレゼンテーションアプリなどで分かりやすく発信できる。	活 B
5	プログラムのエラーや改善点を見つけて、自分でより良くすることができる。	プ B
6	情報の信ぴょう性を考えながら、根拠のある判断ができる。	活 B
7	個人情報や著作権に気をつけて、インターネットを正しく使っている。	モ C
8	友だちとファイルを共有して、協力して活動や調べ学習をしている。	活 C
9	情報技術の良さと危険性を理解し、正しく使おうとしている。	モ C
10	情報社会の一員として、マナーやルールを守って行動している。	モ C

※ 観点A～Cは、資質・能力の三つの柱に対応しています。

A	知識及び技能
B	思考力、判断力、表現力等
C	学びに向かう力、人間性等

基	基本的操作
活	情報活用
プ	プログラミング
モ	情報モラル・セキュリティ

「Googleフォーム」での利用を希望される方は、下記メールアドレスへご連絡ください。

ngt503010@pref.niigata.lg.jp（教育支援課教育研究班 宛）